

風とあかり



創立50周年記念号



一般社団法人 静岡県設備設計協会

風とあかり

創立50周年記念号

"SEPA"って何？



この一般社団法人静岡県設備設計協会のマークの中のSEPAは下記の意味を持つものです。

S : SHIZUOKAKEN (静岡県)
E : EQUIPMENT (設備)
P : PLANNER (設計者)
A : ASSOCIATION (協会)

一般社団法人静岡県設備設計協会の略称として、
SEPA (セパと読みます) の呼称を
定着させたいと存じます。
日常の電話等の対応にご利用下されば幸甚です。

一般社団法人 静岡県設備設計協会

〒422-8062 静岡市駿河区稲川1丁目1番32号 グランドウール稲川Ⅱ302号

TEL (054) 284-3088

FAX (054) 284-3095

Eメール sepa@po4.across.or.jp

ホームページ <http://sepa-jp.com>



会 員 憲 章

一般社団法人 静岡県設備設計協会

1. 会員は委託者の信頼に応え、設備設計事務所の構成員として、資質才能を十分に生かし責務を果たさなければならない。
2. 会員は委託者から適正な報酬を受け、委託者以外のものからいかなる利益供与も受けてはならない。
3. 会員は常に知識と経験を傾注し、先進的な技術をもって社会に貢献するよう努めなければならない。
4. 会員は常に人格の向上、研學に努め、会員相互は友愛をもって遇し、他の設計者の名声を傷つけてはならない。
5. 会員は施工者に対し公正な態度でのぞみ、行き届いた工事監理をしなければならぬ。



創立50周年を迎えて

一般社団法人静岡県設備設計協会
会長 三ツ井 幹 雄

社団法人静岡県設備設計協会は本年で栄えある創立50周年を迎えることとなりました。これは静岡県を始め関係官公庁、関係団体及び諸先輩諸氏、会員及び賛助会員各位のご協力とご支援のおかげと心から感謝とお礼を申し上げます。この50年の節目にあたり、本会の歩みを少し述べさせて戴きたいと思えます。

本会は昭和40年4月（1965年）に静岡県内有志9社にて任意団体静岡県設備設計事務所協会として発足致しました。昭和50年（1975年）には会員数も23社に増加し、急速に建築設備が注目される時代に入ってきました。

昭和60年（1985年）には会員数も倍増され41社になり、静岡県設備課の進めを基にし、大型物件対応として、静岡県設備設計事務所共同企業体（9JV）を発足させ地元静岡県内の設備設計事務所の充実を計りました。

年号が昭和から平成に変わりました年には、会員数も44社に増加し、建築設備の重要度はますます上がり、設備設計の業務も、諸官庁を始め民間物件等も数多く受注出来る状態に成長して来ました。

平成7年（1995年）には、協会の会員増強事業を協力を推進し、最大の60社の会員を集める事が出来ました、建築設備が飛躍的に重要度が高まり、一般社会にも当然の様に必要である、建築設備になりました。

平成13年（2001年）静岡県のご協力を得まして、待望の当協会の社団法人化が実現致しました、ここに社団法人静岡県設備設計協会の誕生しました。

その後平成25年（2013年）法改正により、一般社団法人静岡県設備設計協会に改め現在に至って居ります。

50年の半世紀とは、非常に長い年月です。建築設備業界及び協会を、建築設備がまだまだ理解されない時代から、今日まで支えて下さいました諸先輩の正会員と、陰になり日向になりながら支えて下さいました賛助会員に深く感謝を申し上げます。これからも精進努力し、当協会存続の為、後継者の育成と県民の安心・安全・環境の保全を守っていける役割を果たして行きたいと思えます。

今後共一層のご協力とご支援の程をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

風とあかり (50周年記念号)

目 次

● “SEPA” って何？	3
● 会員憲章	4
● 創立50周年を迎えて 一般社団法人静岡県設備設計協会 会長 三ツ井幹雄	5
● 目次	7
● 祝辞 静岡県知事 川勝平太	8
● 祝辞 静岡県議会議員 天野 一	9
● 祝辞 一般社団法人日本設備設計事務所協会 会長 西田能行	10
● 祝辞 一般社団法人静岡県建築士事務所協会 会長 遠藤正幸	11
● 祝創立50周年	12
● 創立50周年記念式典式次第	17
● 創立50周年記念式典来賓名簿	18
● 歴代会長 回顧録 7代会長 伴 賢二	19
8代会長 志賀正紀	20
9代会長 手塚正一	21
10代会長 小林康秀	22
● ギャラリー 書 志賀磐峰	24
● (寄稿) 静岡県経営管理部財務局設備課 課長 黒柳正巳	25
● 一般社団法人静岡県設備設計協会50年のあゆみ	26
● 広報誌「風とあかり」のあゆみ	39
● 歴代役員	42
● 設備のあゆみ	46
● 委員会活動	56
● 事業報告	61
● 新会員紹介	
正会員 株式会社ツジシステムデザイン 代表取締役 辻 信之	68
賛助会員 株式会社インターセントラル名古屋営業所 所長 若松久資	69
賛助会員 株式会社オーディックス 企画営業部 部長 杉本裕示	70
賛助会員 株式会社日本イトミック 営業開発部 望月克弥	71
● ようこそ静岡へ	
フジクリーン工業株式会社静岡営業所 所長 志村 晃	72
● 頑張ってる営業マン	
ダイキンHVACソリューション東海株式会社静岡支店	
販売推進部 担当部長 山下 薫	73
● 足並みそろえて50年 弊社家族会のご報告	
セルコ株式会社 代表取締役 西川昌宏	74
● 定款	76
● 平成27年度役員委員会構成	81
● 正会員名簿	83
● 賛助会員名簿	85
● 会員だより	97
● 協賛各社ご紹介	99
● 編集後記	116



祝 辞

静岡県知事

川 勝 平 太

一般社団法人静岡県設備設計協会が創立50周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。貴協会におかれましては、昭和40年の創立以来、建築設備の知識に関する普及、啓発、技術に関する調査研究に取り組み、安全で快適な県民生活の向上に寄与されてきました。ここに記念すべき創立50周年を迎えられたことは誠に意義深く、現役員及び歴代役員並びに会員の皆様が、常に技術力向上に御尽力され、業界の繁栄と発展に大きく貢献してこられましたことに、深く敬意を表します。また、先の震災を教訓に本県で実施した県有施設における設備の耐震診断や津波診断において御協力を頂き、改めて感謝申し上げます。

近年、東日本大震災や地球温暖化の影響等により、エネルギーのあり方、温室効果ガス排出抑制、省エネルギー対策への関心はますます高まっています。このような中、高度化、複雑化し、低炭素化、省エネ強化に向けて絶えず進歩発展している最新の設備を扱う皆様方の御労苦は並々ならぬものと推察いたします。

本県では、県政運営の基本理念として「富国有徳の理想郷“ふじのくに”づくり」を掲げ、「県民幸福度」の最大化を目指すその総仕上げとして、8つの重点項目からなる「後期アクションプラン」を策定しました。中でも、「大規模地震への万全な備え」については、災害に強い地域基盤の整備として、災害や被害が発生した場合に、的確に応急対策を施し、早期の復旧・復興を図るため、対策活動拠点となる施設の機能維持に必要な建築設備の地震・津波対策を進めています。また、「エネルギーの地産地消」として、再生可能エネルギーの活用、省エネルギー技術の普及促進に取り組んでいるところです。

このような施策を推進する上で、建築設備に関する専門的技術者の役割は大きく、貴協会の一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人静岡県設備設計協会の今後ますますの御発展と会員の皆様の御健勝を祈念してお祝いの言葉といたします。



祝 辞

静岡県議会議員

天 野

一

この度、(社)静岡県設備設計協会創立50周年の節目を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。貴協会が昭和40年に設立されて以来、会員の協働と連帯に努められる中で、建物と人との間に立って安全・安心・快適さを軸とした建築業界の発展に寄与し、更に業界の円滑な運営に努力し、今日の発展に至ったことに深く敬意を表する次第であります。

私は常々、建物の生命そのものを司るのが設備設計であると考えています。設備設計は建物の頭脳、神経、循環器、消化器、血管等に該当します。建物がその機能を十分発揮するためには、設備設計の役割が大変重要です。建物は設備が息吹を吹き込んでこそ、快適な居住、あるいは職場空間が得られます。

また、設備設計は、高度な専門知識を持つ「建築設備士及び設備設計者」が当たります。しかし、残念ながらこの「建築設備士及び設備設計者」の社会的知名度、認知度がまだまだ低いと感じています。私は地域産業の振興のためにも全力で設備設計の社会的評価の向上のために努力する決意であります。

さて、世界の先進国の中で、未曾有の超高齢社会に最初に突入した日本。これからの社会は、生活の質を重視し、長くなった寿命を健康で自立して暮らすことができること、つまり「健康な長寿」を実現していくことが重要となります。建物は、すべての人びとの生活の基盤であり、住む人、利用する人の心と身体を健康を育むものでなければならず、今後は医療・福祉サービスとの連携もより必要になってくるでしょう。

また、日本は四季折々の表情を持っている美しい国です。日本の社会は、自然に敬意を払い、自然と共に生きてきました。謙虚に自然の脅威を受け入れて、経済や科学ではなく「人間の知恵」で生きる方法を考える大きな分岐点を迎えているのではないのでしょうか。

そのためにも、今こそ設備設計のサービス・運営の知見やノウハウの蓄積を活用して、「自然の恵みを活かす知恵」を融合させることが最も大切なのではないかと考えています。私たちが建物を通じて、日々を健康で豊かに暮らし、将来にわたる「安心」と「豊かさ」を手にするには、持続可能な社会の実現を目指すことに他なりませんし、人の体や心も自然なバランスを保ち、健やかさが目覚めてくるのではないかと思えるのです。

結びに、貴協会が創立50周年を契機に、これまでの歴史と実績を礎に更なる発展を遂げられますことを心からお祈り申し上げます。



祝 辞

一般社団法人日本設備設計事務所協会
会 長 西 田 能 行

一般社団法人静岡県設備設計協会が創立50周年の節目を迎えられましたことに、心からお慶び申し上げます。

貴協会は、1968年（昭和40年）4月に任意団体として発足され、2001年（平成13年）2月には、より公益性の高い社団法人として新たに活動を進め、さらに2013年（平成25年）4月には一般社団法人へ移行しながら、50年の長きにわたり、賢明な諸先輩の尽力のもと、設備設計事務所の発展・繁栄はもとより、設備技術者の育成・社会的地位の向上、延いては建築文化の興隆に寄与され、且つ建築行政の円滑な実施にも貢献されましたことに、深く敬意を表する次第であります。

さて、東日本大震災の原発事故以来、国民・消費者の環境設備や省エネ、情報通信、防災・セキュリティに対する関心は、益々高まっており、建築物における安心・安全とともに、この高度で複雑な課題への対応は、設備機器の発展と設備技術者が支えていると言っても過言ではありません。

このような社会のニーズに対応するには、建築設備士を育成し、設備設計事務所の業務の質と社会的地位を向上させていくことが極めて重要であります。

また、本年6月25日には建築士法の一部改正が施行され、「建築設備士」の資格名称が法律に位置付けられるとともに、一定の建築物の設備の設計及び工事監理について「建築設備士」の意見を聞くことが努力義務化され、続く7月8日には建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律が公布されるなど、建築設備士の重要性は益々高まってきている状況でございます。

一般社団法人日本設備設計事務所協会では、設備設計事務所の業務の改善と社会的地位の向上に努め、長きにわたり、建築設備士の業務権限に係る資格制度の改善を求める活動を行ってまいりましたが、昨年11月及び本年6月には、業界関係者の「もっと、ひとつに」を目指すには組織を連合会に改める改革が必要ではないかと、ブロック会等でのご意見をもとに、設備設計関係協会全国会長会議を開催させていただき、貴協会はじめ各位より貴重なご意見を拝聴することができました。

今後は連合会設立へ向けての議論をさらに積み上げ、地区協会と日本組織が一体に、共に強靱なものになるように、また同時に、公的事務所登録制度の法整備や業務報酬基準の改善を求める活動も推進して参ります。

最後になりましたが、創立50周年にあたり、一般社団法人静岡県設備設計協会の更なる発展と会員の皆様の一致団結を願いお祝いのご挨拶とさせていただきます。



祝 辞

一般社団法人静岡県建築士事務所協会
会 長 遠 藤 正 幸

一般社団法人静岡県設備設計協会が創立50周年を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。

会員の皆様におかれましては、会員憲章にのっとり委託者の信頼にこたえ、委託者から正当な報酬を受け、常に知識と経験を傾け先進的な技術を研鑽されております。また、人格の向上・研学に努め、友愛をもって業務に当たられ、公正な態度で業務をしていただいていると思います。創立50周年は、上記のように憲章に基づき会員一人一人が努力された結果の金字塔かと思えます。大切にさせていただきたいと思えます。

貴協会と私どもは、例えるなら車の両輪です。お互い情報交換を密にして、施主さんやその建物を利用していただける方のために、素晴らしい提案をしてゆきたいと思えます。

設備設計は、建築全体における循環器系に相当するものです。建築を機能させるためには、必要不可欠であり、高付加価値をつけるものでもあります。近年は、安心・安全・快適な住空間や作業空間を、環境に配慮しながら作り上げてゆく必要があります。私たちには重要な役割があり、設計する建物には高度な性能が要求されております。人々の関心は益々高まってくるかと思えます。昨年改正された省エネ法への対応や、CASBEEへの対応も必要となってまいりました。ますます高度な技術や知識の習得が必要となります。建築設計や設備設計者には担い手不足の問題もあります。これからは、貴協会主導でこれらの問題や時代のニーズにいち早く対応できる体制を作っていただきたいと思えます。

結びに、貴協会がこれまで目指してきた目的や活動に敬意を表しますと共に、貴協会や会員の皆様の益々の御発展と、貴協会が地域貢献に一層寄与されますことをご祈念申し上げ、また、私どもの協会との協働・連携を高めてゆくことも合わせて祈念し祝辞とさせていただきます。

祝 創立50周年

総合水処理
株式会社 北陽

代表取締役
三浦弘光

浜松事業部 浜松市東区白鳥町1417-1 〒435-0002
TEL(053)422-0955(代) FAX(053)422-1920
掛川事業部 掛川市五明925-1 〒436-0343
TEL(0537)28-0811(代) FAX(0537)28-0116
携 帯 090-3158-4721
E-Mail: hokuyou@za.tnc.ne.jp
http://www.hokuyou.jp



静岡エリア
エリア長
工藤 雅一

パーパス株式会社

〒417-8505 静岡県富士市西柏原新田201
TEL 0545-32-0545 FAX 0545-32-1675 携帯 080-5882-5153
E-mail kudo1564@purpose.co.jp www.purpose.co.jp

修理受付センター(24時間365日受付) お客様相談室
TEL 0120-260-884 FAX 0120-261-884 TEL 0545-32-1389



営業本部
関東営業2部 静岡営業所
所長
佐藤直樹
NAOKI SATO
照明学会認定 照明士

株式会社 遠藤照明

〒420-0851 静岡市葵区黒金町59-7 ニッセイ静岡駅前ビル4 F
Phone (054)255-1307 携帯: 090-8954-6433
FAX (054)251-5778
E-mail: n_satou@m1.endo-lighting.co.jp
URL: http://www.endo-lighting.co.jp/



株式会社 宇式通信システム

代表取締役 宇式 寛記

〒420-0813 静岡市葵区長沼995番地の1

TEL 054-261-1671
FAX 054-261-9494

中部営業部
静岡営業所長
藤井 裕典

TOA 株式会社

〒420-0857 静岡市葵区御幸町11-10
第一生命静岡鉄道ビルディング6階
Tel (054) 251-5350
Fax (054) 251-5351
http://www.toa.co.jp/



SEKISUI

環境・ライフラインカンパニー
東日本支店 静岡営業所

エリア長



豊田 隆司

積水化学工業株式会社

〒420-0851 静岡市葵区黒金町11-7 (三井生命静岡駅前ビル10階)
TEL:054(275)0720 FAX:054(275)0721
E-mail:toyoda005@sekisui.com
URL: http://www.www.esiontimes.com

名古屋支店
支店長

三好和浩

ホーチキ株式会社

〒450-6032 名古屋市市中村区名駅1-1-4
JRセントラルタワーズ32階
TEL. 052-856-0433(代表) FAX. 052-856-0124
URL http://www.hochiki.co.jp/

静岡支社
支社長

桑原 秀人

ホーチキ株式会社

〒422-8066 静岡県静岡市駿河区泉町7-22
TEL. 054-202-3811 FAX. 054-202-3820
本社 〒141-8660 東京都品川区上大崎2-10-43
TEL. 03-3444-4111(代表)
URL http://www.hochiki.co.jp/

祝 創立50周年

舞台・テレビスタジオ照明

丸茂電機株式会社

代表取締役
社長 **丸茂 正俊**

本社：東京都千代田区神田須田町1-24 〒101-0041
Tel.03-3252-0321 Fax.03-5256-5198
<http://www.marumo.co.jp/>

Recycled Paper

新しい安心をかたちに

アイホン



名古屋支店 静岡営業所

所長 **井上 昌彦**

アイホン株式会社

〒420-0852
静岡市葵区紺屋町11番地17桜井・第一共同ビルディング7階
TEL(054)266-4110 FAX(054)266-4311

Recycled Paper

業務用システム事業統括部
西日本営業部
中部システム支店
静岡システム営業所 所長

岡本 晃昌

株式会社 JVCケンウッド

〒420-0816 静岡市葵区沓谷5-61-1
Tel 054-262-3061 Fax 054-262-3063
E-mail: okamoto.akiyoshi@jvckenwood.com

JVC KENWOOD
creates excitement & peace of mind

JVCはビクターの
グローバルブランドです。

JVC
KENWOOD



光陽 エンジニアリング株式会社

代表取締役

片野 節男

本社 〒421-0113
静岡市駿河区下川原4丁目26番28号
TEL (054)257-3331
FAX (054)257-3322

e-mail: katano@koyo-eng.com
携帯 090-3250-1746

<http://www.koyo-eng.com>
<http://www.eco-ene.net>



エコアクション21
認定番号0006702

《ISO9001 認証》

エコエネのその先へ
Eco-Ene.net

ウエダ建築設備事務所
一級建築士事務所

設備設計一級建築士・建築設備士・CASBEE 評価員 **植田賢司**
〒419-0205 静岡県富士市天間1442-1-103 TEL 0545-71-7237 FAX 0645-72-2217
E-mail: ueda@ueda-aep.com <http://ueda-aep.com>

建築設備設計・監理
MEサポート

建築設備士・一級管理技士

代表 **佐野 富士雄**

〒416-0921 富士市水戸島1-6-35
エンゼルハイム富士参番館904
TEL 0545-60-0020
FAX 0545-60-0024
E-mail: rose88@yr.tnc.ne.jp

建築設備・設計・監理
佐々木設備設計事務所

建築設備士
佐々木 哲男

〒416-0945
静岡県富士市宮島540番地の6
PHONO 0545-61-8965
F A X 0545-61-8965
携帯電話 090-8320-0410
(社) 静岡県設備設計協会々員
E-mail: sasaki_setubi@ytb.ne.jp

建築士 志賀 正紀
建築設備士

志賀建築設備設計事務所

事務所 静岡県富士市伝法2320-8
〒417- TEL (0545) 52-6367番
0061 FAX (0545) 52-5862番
E-mail: shiga-bs@eos.ocn.ne.jp

祝 創立50周年

一級建築士事務所
有限会社 ナガノ設備設計事務所
機械・電気設備 設計・監理

設備設計一級建築士・建築設備士
代表取締役 永野 靖子

(社)日本設備設計事務所協会会員

〒410-0815 沼津市南本郷町8-31
TEL(055)932-8271(代表)
FAX(055)932-8273
E-mail:nagano-sekkei@yr.tnc.ne.jp

建築設備設計・監理
有限会社 オサダ設計 一級建築士事務所

設備設計一級建築士・建築設備士
取締役 長田 武士

(社)静岡県設備設計協会正会員
(社)静岡県建築士会正会員

〒412-0046 静岡県御殿場市保土沢1157-748
TEL 0550-88-5911 FAX 0550-88-5912



設備設計

菱野 アドイン設計

〒424-0826 静岡市清水区万世町1丁目6番26号
TEL 054-352-4982 FAX 054-352-9091
E-mail: adin98@grape.plala.or.jp
URL: http://www.adinsekkei.com

■本社

〒420-0961 静岡市葵区北4丁目17番1号
TEL 054-248-3011 FAX 054-248-6006

代表取締役

三ツ井 幹雄
建築設備検査資格者

環設備設計事務所

〒420-0961 静岡県静岡市葵区北四丁目17番1号
TEL: 054-247-2907
090-7674-6207
FAX: 054-248-2414



電気設備担当 建築設備士

山本 晋也

http://setsubisekai.net

E-mail: shinya@setsubisekai.net



有限会社 コバヤシ設備設計事務所

代表取締役
建築設備士
二級建築士

小林 康秀

〒421-0101
静岡市駿河区向敷地304-5 ロアール向敷地202
TEL (054) 257-3588 ・ FAX (054) 259-2858
携帯 090-3252-4383
E-Mail: kobasetu@po2.across.or.jp
一般社団法人 静岡県設備設計協会相談役
一般社団法人 日本設備設計事務所協会会員
一般社団法人 建築設備技術者協会会員

設備設計 K A I

電気設計・監理

甲斐 裕士

〒421-1131
藤枝市岡部町内谷1470-8
TEL 054-667-3825 ・ FAX 054-667-3826
Mobile 090-8950-5045
E-mail: kaisan@po3.across.or.jp

総合建築設備設計事務所

Souken

中村 健一

Kenichi Nakamura

一般社 電気設備学会会員
一般社 静岡県設備設計協会会員

URL http://www...作成中...
Email souken-setsubi
@amber.plala.or.jp



〒422-8076 静岡市
駿河区八幡5丁目7-24
TEL 054-282-7387
FAX 054-282-7387

有限会社 総合設備計画事務所

取締役 川端 猛 真

〒424-0871
静岡市清水区上原2丁目1番39号
TEL 054-340-3105 ・ FAX 054-340-3106
携帯 090-9188-2173
E-mail s-sougou@jazz.email.ne.jp

祝 創立50周年

NEPS

ナナミ電気設計

一級電気施工管理技士

名波 睦生

(一社)静岡県設備設計協会 会員

〒421-0303 静岡県榛原郡吉田町片岡60-6
TEL 0548-88-3082 FAX 0548-88-3101
e-mail : nana1201@cy.tnc.ne.jp



B・CONCEPT
co.,ltd.

Blue to Symbolize The Environmental Protection

株式会社 ビー・コンセプト

〒426-0012 静岡県藤枝市田沼1丁目2-12岡本ビル3F
TEL:054-631-7795 FAX:054-631-7796
E-MAIL:info@bconcept.co.jp



有限会社 モア設備設計事務所

建築設備設計・管理、省エネ計画

代表取締役 村 松 宏

〒420-0871
静岡市葵区昭府1丁目20番16号
TEL : (054)251-6558
FAX : (054)251-6562
E-mail : ZVQ01540@nifty.ne.jp

山森建築設備設計事務所

建築設備士

山 森 繁

〒424-0055 静岡市清水区吉川 762-4
TEL 054-345-5857
FAX 054-345-5917
E-メール : sigeru-y@po2.across.or.jp

PLAN
G

代表取締役
後藤 利基
建築設備士

株式会社 PLAN-Gエンジニアリング

〒426-0018 静岡県藤枝市本町3丁目3-27 2階
TEL: 054-637-9337 FAX: 054-689-0626 Mobile: 090-4089-6244
E-mail: plan_g_eng@ybb.ne.jp

建築設備士

中山 巧
TAKUMI NAKAYAMA

エル設備企画

〒421-0421 静岡県牧之原市細江1388-1
tel:0548-22-6638 fax:0548-22-6687



株式会社 エスエスシー

Synthetic System Coordinate

建築設備 設計・監理

代表取締役 齊 藤 隆 幸

SAITO TAKAYUKI
建築設備士

〒432-8051
静岡県浜松市南区若林町 375
Tel:053(440)0371 Fax:053(440)0372
e-mail: t_saito@ssc-eo.com

設備コンサルタント
セイブ設備計画



神谷 保孝

Yasutaka Kamiya

有限会社 セイブ設備計画

〒435-0006
静岡県浜松市東区下石町1403
TEL 053-421-5501
FAX 053-421-7575

祝 創立50周年

株式会社 **セイワ設計**

設備コンサルタント 建築設備士

代表取締役
手塚 正一
Masakazu Teduka

〒433-8114
浜松市中区葵東1丁目8番50号
TEL (053) 437-4110
FAX (053) 437-5508




建築設備設計・監理

代表取締役
伴 賢二

株式会社 **パブリック設備研究所**
〒432-8021 浜松市中区佐鳴台2丁目9番33号
TEL(053)447-9131 FAX(053)447-9133
E-mail:public@prcess.ne.jp



一級建築士
設備一級建築士

代表取締役 **鈴木 洋之**

〒435-0036 浜松市南区渡瀬町804番地の5
TEL(053)464-6300(代表) FAX(053)468-0056
E-Mail: yoo-sys@process.ne.jp

www.frame-arts.jp



設備設計部長 技術士(衛生工学部門)
大塚 優 設備設計一級建築士

株式会社**フレームアーツ** 構造・設備設計一級建築士事務所

事務所 浜松・東京

浜松本社 〒432-8012 静岡県浜松市中区布橋2-3-36 アライビル 3F
Tel : 053-450-4153 Fax : 050-3488-6039
Mobile : 090-8674-8360
E-mail : masaru.ootuka@frame-arts.jp



株式会社 **ツジシステムデザイン**

設備設計一級建築士
一級建築士

代表取締役 **辻 信之**

〒434-0042
浜松市浜北区小松4346-7 マルキビル2-B
Tel:053-571-9320 Fax:053-571-9321
Mobile : 080-5137-5721
E-mail:tsuji-sd@rx.tnc.ne.jp

杉山設備設計事務所

杉山 敬
設備計画・設計・監理

事務所(〒438-0815)
静岡県磐田市巾着田621-1
TEL (0538) 34-4349
FAX (0538) 34-2545
携帯 090-3563-1142
Eメール sugiyama-sekei@ka.tnc.ne.jp

創立50周年記念式典

平成27年11月20日（金） ホテルアソシア静岡「駿府」

1 記念式典 午後2時30分～3時30分（司会：宮田量子）

- 1) 開会の辞 実行委員長 山森 繁
- 2) 会長挨拶 会長 三ツ井幹雄
- 3) 来賓紹介
- 4) 来賓祝辞 静岡県知事（代理 静岡県経営管理部部長） 伊藤 篤志 様
〃 衆議院議員（前 環境大臣・原子力防災担当大臣） 望月 義夫 様
〃 国土交通省中部地方整備局静岡営繕事務所所長 下野 成敏 様
〃 静岡県議会副議長 杉山 盛雄 様
〃 （一社）日本設備設計事務所協会副会長 山口 和明 様
- 5) 50年のあゆみ（スライド）
- 6) 祝電披露
- 7) 表彰状贈呈 会長 三ツ井幹雄
- 8) 閉会の辞 副会長 植田 賢司

2 記念講演 午後3時45分～4時55分（司会：宮田量子）

- 1) 開会の辞 会長 三ツ井幹雄
- 2) 講師紹介
- 3) 講師 日本銀行静岡支店 支店長 服部 守親 様
- 4) 演 題 「内外経済の展望」
- 5) 講師プロフィール
昭和38年 大分県生まれ
昭和62年 慶應義塾大学経済学部卒業、日本銀行入行
平成17年7月 金融機構局企画役
平成20年7月 政策委員会室参事役
平成22年7月 文書局総務課長
平成23年7月 北九州支店長
平成25年3月 静岡支店長

3 記念祝賀会 午後5時10分～7時（司会：宮田量子 名波睦生）

- 1) 開会の辞 理事 名波 睦生
- 2) 会長挨拶 会長 三ツ井幹雄
- 3) 来賓紹介
- 4) 来賓祝辞 顧問静岡県議会議員 天野 一 様
〃 （一財）静岡県建築住宅まちづくりセンター理事長 青山 巖 様
〃 （一社）静岡県建築士事務所協会会長 遠藤 正幸 様
- 5) 乾杯挨拶 岐阜県設備設計事務所協会理事 松尾 仁 様
- 6) 祝 宴 アトラクション（エレキバンド）
「青春を呼び戻せ なつかしのグループサウンズ」演奏：ハニーハッシュ
- 7) 中 締め セルコ株式会社 代表取締役社長 西川 昌宏 様
- 8) 閉会の辞 理事 佐野富士雄

来 賓 名 簿

○静岡県知事

(代理 静岡県経営管理部部長) 伊藤 篤志 様

○国会・県議会議員

衆議院議員(前 環境大臣・原子力防災担当大臣) 望月 義夫 様 静岡県議会副議長 杉山 盛雄 様
静岡県議会議員 小楠 和男 様 顧問静岡県議会議員 天野 一 様

○国土交通省

中部地方整備局静岡営繕事務所所長 下野 成敏 様

○静岡県

経営管理部理事 渋谷 忠志 様 経営管理部財務局設備課課長 黒柳 正巳 様
経営管理部財務局設備課技監 石田 高久 様 経営管理部財務局設備課課長代理 内山 武志 様
経営管理部財務局設備課設備技術班班長 石川 達也 様 経営管理部財務局設備課電気班班長 石黒 義英 様
経営管理部財務局設備課機械班班長 刑部 稔 様

○静岡市

都市局建築部設備課主幹兼清水設備係長 山下伊津雄 様 都市局建築部設備課参事兼課長補佐 古杉 守 様

○浜松市

財務部次長公共建築課課長 松本 文宏 様

○富士市

建設部施設建築課統括主幹 佐野 博之 様

○御殿場市

都市建設部建築住宅課課長補佐 佐藤 修一 様

○日設協関係

(一社) 日本設備設計事務所協会副会長 山口 和明 様 (一社) 日本設備設計事務所協会参与 木下 美代 様
(一社) 日本設備設計事務所協会事務局長 氏家 基彦 様

○講 師

日本銀行静岡支店長 服部 守親 様

○都道府県協会

(一社) 愛知県設備設計監理協会会長 村上 正継 様 (一社) 三重県設備設計事務所協会会長 杉本 治 様
(一社) 三重県設備設計事務所協会顧問 伊藤 憲司 様 岐阜県設備設計事務所協会会長 高間 寛治 様
岐阜県設備設計事務所協会理事 松尾 仁 様 (一社) 山梨県設備設計事務所協会会長 田口 和人 様
(一社) 福井県設備設計事務所協会会長 松山 憲雄 様 (一社) 石川県設備設計監理協会会長 村島外三雄 様

○関係団体

(公社) 静岡県建築士会会長 佐藤 博行 様 (一財) 静岡県建築住宅まちづくりセンター理事長 青山 巖 様
(一社) 静岡県建築士事務所協会会長 遠藤 正幸 様 (一社) 建築設備技術者協会中部支部静岡支所長 岡野 公彦 様
(一社) 静岡県設備協会副会長 渡邊 哲朗 様 (一社) 日本建築学会東海支部静岡支所長 野村 進 様
(公社) 日本建築家協会東海支部静岡地域会運営局長 尾林 孝雄 様 静岡設計監理協同組合理事長 高田 雅司 様
静岡県水処理協会会長 大石 憲義 様 静岡県消防施設業協会会長 杉山 和幸 様
静岡県厨房設備業協会会長 小川 和男 様 (一社) 静岡県冷凍空調工業会副会長 浅井 孝 様
(一社) 静岡県フロン回収事業協会代表理事 鳥波 益男 様 (一社) 静岡県管工事工業協会会長 三輪容次郎 様
(一社) 静岡県浄化槽協会理事 加藤 敬規 様 (一社) 静岡県電業協会会長 夏目 英明 様

○報道機関

(株)建通新聞社静岡支社取締役支社長 品川 明臣 様



協会設立50周年誠におめでとうございます

7代会長 伴 賢 二

想えば設立時、会員7名だったと思います、私もその内の1人の会員でした。以降50年の間、私は昭和59年より、平成2年迄3期6年、会長を務めさせていただきました。その間、会員は多数増え、協会事務所を静岡市内に構え盛大になっていきました。協会の活動は静岡県を始め、各市・町まで設備設計業務を別途発注していただくようお願いを伺い、多くの成果を得る事ができたと思います。

私は、会長職時代に、(社)日本設備設計事務所協会に入会し、静岡県の代表として、協会の会合等に理事として出席させていただきました。(社)日本設備設計事務所協会は、東京に本部を置き、全国の都道府県の協会が所属し静岡県は中部ブロック内で他に愛知・岐阜・三重県が参加しておりました。私は、中部ブロック4県の代表として、理事につかせて頂き数年の間、国土交通省を始め各省庁へ設備設計業務の別途発注のお願いに上がりました。以降、協会の専務理事を始め、平成9年より大阪府の福西協会長が(社)日本設備設計事務所協会の会長になられた時、私は副会長を仰せつかり、福西会長の下で設備設計業務の確立に向け日々励んで参りました。これも偏に、静岡県の協会長に任命させて頂き、静岡県代表として(社)日本設備設計事務所協会に出席させて頂きました事で(社)静岡県協会に心より有りがたく思い又、一生の心の支えになります。

最後に(社)静岡県設備設計事務所協会が、この先、60周年・70周年を目指し益々発展して行くことを願い、私のお祝いの言葉とさせていただきます。



協会設立50周年によせて

8代会長 志賀正紀

協会設立50周年おめでとうございます。

50年前を振りかえってみますと、丁度私が事務所を開設した直後でもあり、建築設備が世間に認知され始めた時期でもありました。大へん懐かしく思い出されます。そして戦後の高度経済成長期と時を同じくして当設備設計協会が誕生し、業界や設備技術者の地位の向上に大いに貢献致しました。

振りかえってみますと、東京オリンピックがあり、東海道新幹線が走り、東名高速道路も開通し、又超高層ビルの第一号が新宿の駅前に建ち、浜松町には東京タワーが建設されたのもその頃だったように記憶しております。

それから50年、今では我々に馴染みの深い製図台等製図用具の必要のない時代になってしまいました。部屋の片隅の古い道具を見つめ、これからの設計業界はどのように変わっていくのだろうか、時々その様な思いにふける事があります。施工に於いても同様ではないでしょうか。我々はこの業界のなかで省エネルギー技術の開発や維持管理に目を向けて足跡を残していかなければと、先の短い人生を思い時々そのようなことを考えることがあります。そしてそれを担当する我々の努力と研鑽の結果を後世にどのように残せるのか？

協会員や又同業者の皆様と協力し、設計の立場、施工の立場、管理の立場で技術の発展を共に考えていかなければならないと思います。今後の協会の益々の発展を祈念し、祝辞と致します。



= これから先が大切 =

9代会長 手塚 正 一

創立50周年おめでとうございます。

一口で半世紀とは言え、長い道程だったと感じます。設立当時の皆様方は建設ラッシュで忙しく、新設の建物が多く仕事も沢山有り、毎晩徹夜の連続であったと思います。

仕事は、紙と鉛筆とT定規又はドラフターでしたが、作業の流れが、良くて次から次へと作図し書き直しに近い変更は少なかったです。

疲れなど知らず、少しの暇を見つけては飲みに出かけることが楽しみで励んでいました。

市町では、注文者が設計者に設計も積算も全任されており、信頼され任された方が返って張り切っていたように思いました。

平成になってからは、パソコンによる設計作業となり、機器も導入されるようになりました。

設計も改修物件が多く、若い頃自分が手掛けたものが又自分の元に戻って来ての仕事が増えて来ました。

私も、もうすぐ古希を迎えます。設計当時協会仲間は、50社ほどおりましたが今では半分くらいの数と減って来ました。寂しい気持ちです。

高齢化してきた為に廃業される方、自由気ままな道を選択して協会を離れる仲間達とか、私共が歩んで来た道を登って来ない後輩など色々な理由で仲間が増えません。私も近いうちに引退を考えておりますが、最後に何とか後輩達に、この道を一緒に歩いてもらいたい！何とかしたい！と考えております。

やっぱり建設業界全体が良くならない限り、自分達の分野だけ良くなることは考えられないことです。

入札結果を新聞で見っていますが、破格の金額で入札されこれを受理されている業界に若者を誘って育てて良いものなのか悩みます。

50周年を振り返るよりも、今後50年に向かって業界を業務を後継者も含めて真剣に取り組んで行くことが重要だと思います。



創立50周年を迎えて思う

10代会長 小林 康 秀

私がこの設備設計の仕事に入り48年が過ぎました。

昭和42年3月に企業組合針谷建築事務所で設備設計部門を作られると言う事で、学校の先生の勧めもあり入所しました。入所当時機械設備の先輩が居られて、右も左も分からない私は青焼きのコピー、トレースを手伝って居た事を思い出します。昭和53年3月に退職して設備設計事務所を開設しました。

それ以来残業、休日出勤を繰り返す日々を過ごし、妻、子供に苦勞を掛けた事を感謝しています。静岡県設備設計協会に昭和60年に入会しました。当時協会は社団法人化を目指していました。平成3年に法人化準備委員長になりましたが右往左往していました。県当局及び諸先輩・色々な人達のご協力のお陰で平成13年2月に念願の社団法人になり、やっと社会に認められる協会になりました。

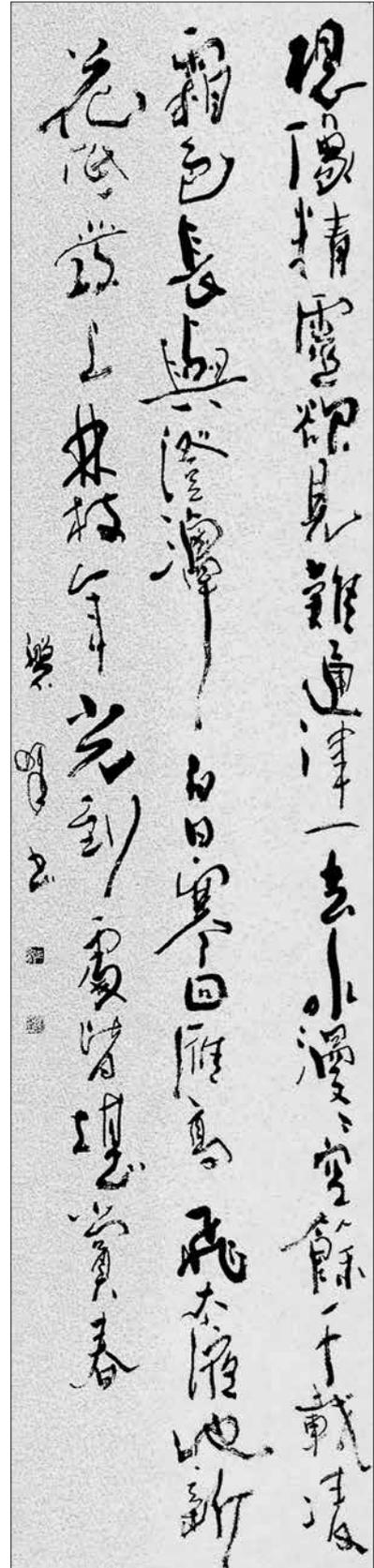
これからの設備設計者に望む事は、建築設備士・設備設計一級建築士の資格を取得して、日々研鑽に励んで頂きたいと思います。当協会も高齢化が進み会員の減少になっていますが未加入の設備設計者もいます。一人では出来ない事も協会で出来る事があります。今の社会は皆が良くなると自分も良くなりません。後継者の育成や社会貢献も必要です。

これからも協会を盛り上げて頑張っていきたいと思っています。



Art Gallery

推薦顧問賞（第四十回書聖会全国展）



題延平劍潭

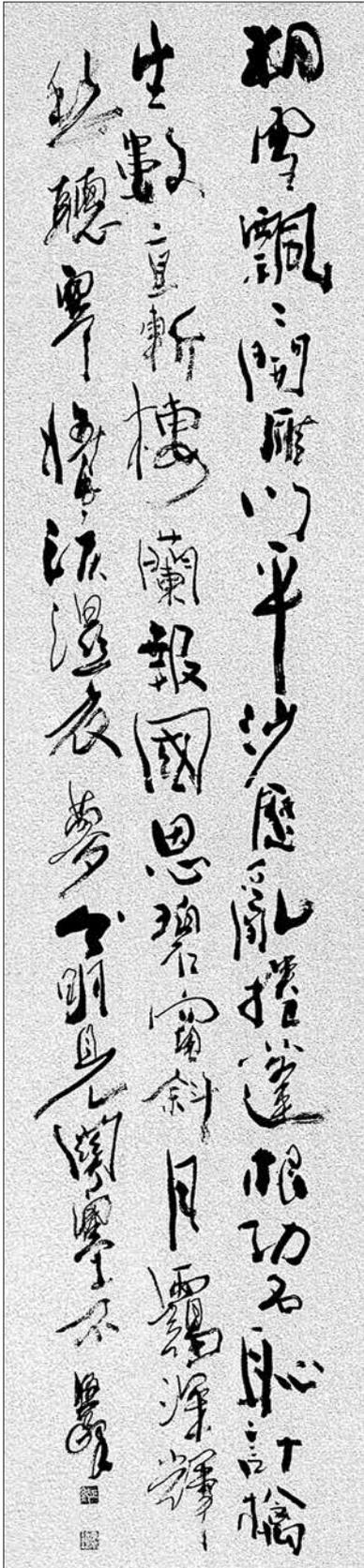
詩作名 歐陽詹

想像精靈欲見難。通津一去水漫漫。回雁高飛太液池。新花低發上林枝。
 空餘千載凌霜色。長與澄潭白日寒。年光到處皆堪賞。

志賀磐峰

（正紀）

特選書聖賞（第四十一回書聖会全国展）



塞下曲秋閨思

詩作名 張仲素

朔雪飄飄開雁門。平沙歷亂捲蓬根。碧窗斜月靄深輝。愁聽寒蟬淚濕衣。
 功名恥計擒生數。直斬樓蘭報國恩。夢裏分明見關塞。不知何路向金微。

志賀磐峰

（正紀）



半世紀を顧みれば^{あす}将来が輝く！

静岡県経営管理部財務局設備課 課長 黒柳 正 巳

一般社団法人 静岡県設備設計協会がめでたく創立50周年を迎えられましたことを衷心よりお祝い申し上げます。

50年と申しますと半世紀前。その昭和40年当時、わが国の経済成長率が平均10%程度あった時代です。まさしく高度成長時代であり、電灯、給排水の簡単な建築付帯設備から、メタボリズムが流行し、更なるラグジュアリーを求め、世間の設備に関するニーズの高まりが産声を上げた時代だと記憶しております。その節目の時代において、憲章にも謳われているとおり、“常に知識と経験を傾注し、先進的な技術をもって社会に貢献”という旗印の下に個の技術力を結集し、協会を設立されたことは、先見を見据えた志であると改めて敬意を表すところであります。

50年の時代の流れの中で、その時々における設備設計に要求される事項の変化は決して緩やかなものではありませんでした。

皆様方におかれましては、個々における日々の技術力の研鑽は勿論のこと、協会として時勢を捉え、一致団結の精神で技術力の向上に努めてこられたことは、組織としてあるべき姿として真に敬服いたしております。

さて、現在へと視点を移しますと、大災害を想定した地震防災、環境・エネルギー問題が県施策の重要課題となっております。

まず地震防災ですが、一昨年には、特別支援学校における蓄電池付太陽光発電設備、また昨年度は、警察庁舎における発電設備の長時間化など災害への対応が顕在化してきております。この傾向は、今後もさらに設備の強靱化を目指し、継続してまいりたいと考えております。

そして、エネルギー問題であります。昨年度、国でエネルギー基本計画が発表され、その目指す目標が明確に示されました。県といたしましても、当然、その基本計画に沿って産官学の連携による施策展開を検討しているところであります。

更には、アベノミクスの効果で、景気回復の兆しが現れつつあります。このことから、設備投資における要求の変化を想定し、協会として自らを律していただけることをお願いする次第であります。

結びに、この50周年を契機に静岡県設備設計協会のこれから益々の御発展と会員皆様方のより一層の御活躍、御健勝を心からお祈り申し上げます、お祝いの言葉といたします。

50年のあゆみ

年月	主な行事	その年の出来事	
組織名	「静岡県設備設計事務所協会」 昭和40年4月17日設立		
1965 昭和40年 4月	設立総会（9社にて発足）	1964年 東京オリンピック	 昭和40年4月 発足当時のメンバー
1966 昭和41年		朝永振一郎ノーベル物理学賞受賞 名神高速道路全線開通	
1967 昭和42年	4月 県営繕課と懇談会	日本の人口1億人突破	 塩沢副会長
1968 昭和43年		東京府中で3億円事件 霞が関ビル完成	
1969 昭和44年	会員15社	アポロ11号月面着陸 東名高速道路全通 TBS「水戸黄門」スタート	 坂田新会長
1970 昭和45年	会員14社	大阪万博開催 歩行者天国実施	
1971 昭和46年		沖縄返還協定調印 円の変動相場制移行を決定	 山下新会長
1972 昭和47年	4月 県営繕課と懇談会	日中国交樹立 札幌冬季オリンピック開催 あさま山荘事件	
1973 昭和48年	会員22社 事業・技術・業務の3委員会発足 5月 県営繕課と懇談会 12月 臨時総会開催（会員21社）	石油ショック 円 変動相場制に移行	 小池新会長
1974 昭和49年	会員21社 10月 住宅展	戦後初のマイナス成長 三菱重工本社ビル爆破事件 七夕豪雨	
1975 昭和50年	12月 臨時総会開催（会員22社）	沖縄海洋博開催 100円ライター発売	
1976 昭和51年	総務委員会発足 5月 県営繕課と懇談会 7月 設備協会と懇談会	ロッキード事件 「徹子の部屋」放送開始	

年月	主 な 行 事		その年の出来事	
1977 昭和52年	通	5月 県営繕課と懇談会	北海道有珠山噴火 王貞治HR756号世界新記録	
1978 昭和53年		1月 静岡市設備設計協議会発足 6月 県都市住宅部と懇談会 12月 住宅展	成田新国際空港開港 日中平和友好条約調印 宮城県沖地震	
1979 昭和54年		全 国 設 備 設 計 事 務 所	6月 県関係各課と懇談会 10月 協会便り発行	
1980 昭和55年	3月 中部電業協会と懇談会 8月 住宅展		静岡駅前地下街ガス爆発事故 省エネロック	
1981 昭和56年	11月 住宅展		神戸ポートピア'81 日米自動車摩擦	
1982 昭和57年	常 係	6月 住宅展	東北・上越新幹線開業 ホテルニュージャパン火災 テレホンカード登場	 塩沢会長
1983 昭和58年		9月 住宅展 11月 設備協会と懇談会 12月 「日本設備設計事務所協会連合会」 発足、発会式 (東京日本青年館)	東京ディズニーランド開園 三宅島大噴火 ファミコン発売(任天堂)	 大竹副会長
1984 昭和59年		12月 臨時総会	グリコ森永事件 日本 世界一の長寿国へ	 伴副会長
1985 昭和60年	総 課 と 懇 談 会	11月 創立20周年記念式典 11月 臨時総会 12月 日本設備設計事務所協会 1周年記念大会	日航ジャンボ機 御巢鷹山墜落事故 NTT、日本たばこ産業 (JT) 発足	 大竹会長
1986 昭和61年		7月 日本設備設計事務所協会理事会 (倉敷市) 10月 住宅展	チェルノブイリ原子力 発電所爆発事故 三原山大噴火 建築設備士制度施行	 白鳥副会長
1987 昭和62年		1月 新年名刺交換会 日本設備設計事務所協会理事会 (2月 蒲郡市、11月 東京都)	国鉄民営化「JR」発足 バブル経済始まる	 伴副会長
1988 昭和63年	会 会	1月 新年名刺交換会 日本設備設計事務所協会理事会 (4月 熱海市、10月 東京都) EPC発足 (東部地区会) 7月 広報誌「風とあかり」 創刊号発刊 10月 住宅展	青函トンネル開通 瀬戸大橋開通 リクルート事件	 伴新会長
				 白鳥副会長
				 志賀副会長
				 創立20周年記念式典
				 広報誌創刊号発刊作業

年月	主な行事		その年の出来事		
1989 平成元年	通	日	9月 住宅展	昭 and 天皇崩御 消費税（3%）開始 ベルリンの壁崩壊	
11月 設事連中部ブロック研修会 (金沢市)					
1990 平成2年	通	本 設	1月 新年名刺交換会	礼宮様・紀子様ご成婚 東西ドイツ統一	
10月 住宅展					
11月 設事連中部ブロック会主催 (中部6県、伊豆長岡町)					
1991 平成3年	新	設	11月 住宅展	バブル崩壊 雲仙普賢岳噴火 湾岸戦争勃発	
12月 技術講習会					
1992 平成4年			計		
10月 設事連中部ブロック会議 (福井県芦原)					
11月 技術講演会					
1993 平成5年	常	務 所 協	4月 協会新事務所開設 (東京堂ビル208号)	皇太子様・雅子様「結婚の儀」 Jリーグ開幕 冷夏、異常気象が襲う	
5月 静岡県設備室と三役懇談会					
9月 住宅展					
10月 設事連中部ブロック会議 (富山市)					
1994 平成6年	詞	活	6月 静岡県設備室との懇談会	関西国際空港開港 松本サリン事件	
9月 設事連中部ブロック会議 (岐阜県)					
9月 住宅展 10月 設備技術者講習会 (東部・中部・西部)					
1995 平成7年	交	加	6月 静岡県設備室との懇談会	阪神淡路大震災 地下鉄サリン事件	
9月 (社)日本設備設計事務所協会 北陸甲信越ブロック・中部ブロック 理事及び各県代表者会議					
10月 住宅展					
11月 創立30周年記念式典 (静岡市ホテルアソシア)					
1996 平成8年	歡	理	2月 県建築課、設備室との意見交換会	ペルー日本大使館公邸人質事件 原爆ドーム世界遺産登録	
5月 (社)日設協中部・北陸甲信越ブロック会議					
9月 住宅展					
1997 平成9年	事 会	会	5月 (社)日本設備設計事務所協会総会	消費税5%スタート 東京湾アクアライン開通	
6月 県設備課との懇談会 設備設計相談 (清水、磐田、藤枝各市役所)					
10月 (社)日設協北陸甲信越・中部ブロック会議 (金沢市・ホテル日航金沢)					
1998 平成10年	理 事 会	設 備 設 計 無 料 相 談 会	1月 新年賀詞交歓会	長野冬季オリンピック開催 サッカーW杯仏大会初出場	
7月 (社)日本設備設計事務所協会 全国事務局長会議 (東京都・明治記念館)					
9月 住宅展					
9月 県設備課との懇談会					

県関係各課と懇談会

柏崎刈羽原子力発電所研修会

新年賀詞交歓会

創立30周年記念式典

千葉県高津 新エネルギーパーク研修会

「住まい博」に出展

年月	主 な 行 事			その年の出来事		
1999 平成11年	通 常 総 会	理 事 会	設 備 設 計 無 料 相 談 会	1月 新年賀詞交歓会	東海村臨界事故 N T T 分割	
4月 空調用新冷媒の技術講習会 (静岡市・JR東海静岡社員センター)						
2000 平成12年				1月 新年賀詞交歓会	有珠山・三宅島噴火 新二千円札発行 BSデジタル放送開始	
2月 循環型社会の水のサイクルを考える シンポジウム (水処理協会共催)						
2月 県設備室「設備設計技術検討会」						
9月 住宅展						
組織名	社団法人静岡県設備設計協会 平成13年2月23日登記					
2001 平成13年	通 常 総 会	理 事 会	設 備 設 計 無 料 相 談 会 (清水・藤枝・磐田・浜松各市区役所等)	1月 社団法人設立総会	米国同時多発テロ事件 大阪・池田小学校殺人事件	
5月 (社)発足記念式典祝賀会						
9月 住宅展						
9月 掛川工業高校との対話						
10月 北陸甲信越・中部ブロック会議 (三重県)						
2002 平成14年				2月 日設協臨時総会	サッカーW杯日韓共同開催 日朝首脳会談	
4月 沼津市松長海岸清掃奉仕作業						
8月 建築設備耐震診断技術講習会						
10月 北陸甲信越・中部ブロック会議						
11月 設備設計三団体浜松市長と懇談会						
11月 会員研修会						
12月 地球温暖化講演会						
2003 平成15年	1月 建築五団体賀詞交歓会	東海道新幹線「品川駅」開業 宮崎駿監督 「千と千尋の神隠し」が アカデミー賞獲得				
2月 設備協会共同研修会 掛川工業高校との交流対話 (2月、9月)						
9月 北陸甲信越・中部ブロック会議						
10月 国交省中部地方整備局 東海4県協会と意見交換会						
11月 KHP空調講習会						
11月 会員研修会						
2004 平成16年	1月 建築五団体賀詞交歓会		新潟県中越地震 スマトラ沖地震 裁判員制度法成立			
3月 掛川工業高校との交流対話						
4月 共同事業推進委員会技術研修会						
4月 沼津千本浜海岸清掃及び網引き						
10月 静岡市中島浄化センター見学						
2005 平成17年	1月 建築五団体賀詞交歓会	個人情報保護法施行 愛知万博開催 平成の大合併50市町誕生				
2月 掛川工業高校との交流対話						
3月 共同事業推進委員会技術研修会						
3月 県設備室公益法人監査						
4月 沼津松長海岸清掃奉仕						
4月 電子入札研修会						
5月 (社)日本設備設計事務所協会通常総会						
7月 県企業局富士川浄水場見学会						
8月 北陸甲信越中部ブロック会議						
10月 住宅展						
11月 創立40周年記念式典						
						77年度 通常総会
						40周年記念 集合写真

*各年度の詳細については、VOL.27「40年のあゆみ」をご覧ください。